

令和元年度 第3回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:令和元年11月20日(水)

10時00分～11時30分

場所:摂津市民図書館 3階大会議室

出席委員: 8名

欠席委員: 2名

事務局: 4名

案件 1. モニタリング評価結果報告(令和元年度第1・第2四半期)

2. 子ども読書活動推進計画

3. その他

(1)モニタリング評価結果報告(令和元年度第1・第2四半期)について

(事務局) — モニタリング評価結果(令和元年度第1第2四半期)について説明 —

モニタリング評価自由記載欄の意見について

(事務局) ○「本の貸出記録をしてない場合、図書館の出入り口でのセキュリティはないのでしょうか。(例えば本の貸出記録がない場合、音が鳴るなど)」ということについて

⇒全国的に導入する自治体が増えているが、高額な費用がかかることもあり、導入に至っていない。また、蔵書点検の結果を見ても所在不明になった資料の数がわずかであるので喫緊にシステムを導入する必要はないと考えられる。

(事務局) ○「子どもや子育て家庭に対する企画を通じてのサポートが特に優れているので、阪急正雀、JR岸辺などの掲示板に貼り市民に広く知らせるのもよいのでは」について。

⇒周知の方法として、市内の広報板やイベントによっては学校と連携してポスターの掲示等をお願いしている。

(事務局) ○「ネットで予約チェックが入った本は他の人が借りようとした時に、カウンターのパソコン画面で「この本は予約が入ってます」等の文ができるようにできないだろうか」

⇒ネットや電話で予約を受け付けた場合は予約の順位がはっきりわかるが、来館された利用者がいつその本を手にとったかは判明しない。図書館は来館された人を優先する他ないので、ご理解いただきたい。

(事務局) ○「まさに図書館という静かな空間が広がっておりました。子どもが少ないのが意外」について

⇒小中学生は平日の放課後が習い事や部活動で来ていない。学年が上がるとさらにその割合が高くなる。土日は保護者と一緒に来ているので、そのあたりにもっと来てもらえるようイベントの企画を行う。

(事務局) ○「椅子に座って読書をしている方が多く、テーブルがあった方が便利に利用していただけると感じました」について

⇒家具を増やすと車椅子やベビーカーの通行が困難になる。特に市民図書館に関しては利用者数が多いので、座る場所の確保を優先して考えている。

(事務局) ○「市民図書館入り口付近に少し悪臭があり、子ども達が「臭い」と話していた」

⇒臭いの問題は細やかな配慮が必要であるので、何か気になることがあればすぐにスタッフに申し付けていただき、スタッフが対応したいと思う。

(事務局) ○「市民図書館の玄関が色あせた掲示や、段ボール箱等で暗い印象がある。玄関にポップを飾るなど明るく利用者を迎える工夫をしていただきたい」

⇒玄関については以前より「暗い」とのご指摘をいただき照明器具を置くなどしてきた。図書館スタッフはポップを作る技術を持っているので改善していきたい。

(事務局) ○「保護者の方からベビーの絵本の充実とマットスペースの拡充を要望して欲しいという声がありました。書架の配置の工夫等で、キッズスペースがより使い易くなりますようご検討ください」

⇒絵本については以前より重点的に購入し、今後も継続していく。スペースの拡充については場所に限りがあるが、できる範囲で対応したい。

(事務局) ○「出席者が4名と少なかったですが7月28日の図書館ツアーもとても良い企画だと思います。中学生への呼びかけも増やすと読書離れが少し防げるのではと考えています」

⇒図書館ツアーは書庫内を案内するのだが、狭いので大人数を案内するのが難しい。中学生に参加してもらうことは大事と思うので、呼びかけをしていきたい。

(事務局) ○「本の通帳を子ども用に導入する予定はありますか。通帳にポイントが貯まることで児童の来館が増えるのではと思います」

⇒摂津では現在借りている本のリストをシール状でプリントし、そのシールを貼る読書手帳を導入している。読む楽しみを増やすことができるので、読書手帳を活用してもらいたい。

(事務局) ○「人気のあるイベントは市民図書館と鳥飼図書センターの両館で実施し、回数を増やすことはできないでしょうか。また各々のイベント

を双方で告知して、普段行かない館につなげるようにしてもらいたい」
⇒ぬいぐるみのお泊り会は人気があるので2館で実施している。それぞれの特徴を活かした活動を行っているので連携・周知を徹底していきたい。

(事務局) ○「市民図書館の方が座るスペースも書籍も多く良い。スタッフの人員も多く展示の数も多い。」

⇒鳥飼図書センターは去年の台風の影響で屋根瓦が飛んでしまいその関係で学習室を長い間閉めていた。そのための雨漏りや照明器具、壁の修繕が終わったのでまた見に来ていただければと思う。

鳥飼は静かな空間でと言うところが売りにもなっているとも思える。

(2)子ども読書活動推進について

(事務局) 策定のスケジュール等について説明
出席委員から現案で進めることを確認

(3)その他

(委員) モニタリングの方法についてだが、協議会委員であることを図書館で職員に話したうえで行うべきなのか。

(委員) 自分の視点だけではなく、知り合いなど他の方の話を伺うようにしている。ただし家が市民図書館に近いので、どうしても評価が市民図書館中心になってしまう。

(事務局) モニタリングについては特に覆面で行う必要はないと考えている。

(委員) 市役所などで行っているスポンサー表示の封筒については実施できるだろうか。

(事務局) 市の取り組みの方法を調査する必要がある。

(委員) ビブリオバトルの、チャンプ本の特典をもっと明確にすべきだ。

(事務局) 次回開催時に検討する。

(委員) 図書館ツアーを行っているが、大手の書店等で実施している「本屋に泊まろう」のような企画を図書館で行えないか。

(事務局) 施設規模から考えて難しいと思う。大人向けの図書館を知る企画を考えたい。

(委員) 1階の「本が泣いています」展示で『絶対にやめてください!』の文言が厳しいと思う。そうなった時にどうすればいいのかを書いてほしい。

(委員) 本が汚れている、破れているのを見つけたら図書館職員に話してください、などに変える方がよい。

(委員) 12月14日に小中学校の読書感想文コンクールの表彰式を行う。今年は大阪府で高学年の佳作がでるなど、子どもたちの読書時間が増えていると実感できる。表彰式で図書館ビブリオバトルの参加者を招待するなど、学校と図書館の連携を行えたらと思う。また、学校で児童に配っている読書ノートと図書館で発行している読書手帳をリンクさせるよう

な取り組みを進めてもらいたい。

(事務局)

次年度以降の取り組みとして、ぜひ連携していきたい。